

令和7年度第1回大和町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和7年10月30日（木） 午後1時00分から午後2時40分
- 2 開催場所 役場庁舎201会議室
- 3 議 題
 - (1) 令和8年度の教育分野における主な事業（案）について
 - (2) その他
- 4 出席者
浅野町長、八巻教育長、鎌田教育長職務代理者、木皿委員、大内委員
- 5 欠席者
石垣委員
- 6 会議に出席した事務局職員
児玉総務課長、菊地教育総務課長、浪岡生涯学習課長、村田公民館長、
藤原教育総務課長補佐、澤田総務課総務法令係長
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議の概要 以下のとおり

開 会

総務課長：それでは定刻となりましたので、令和7年度第1回大和町総合教育会議を開会させていただきます。はじめに、本日の会議は、大和町総合教育会議運営要綱第4条により、原則公開することとなっておりますのでご了承願います。それでは、開会にあたりまして、浅野町長から挨拶を申し上げます。

開会挨拶

町長：本日は大変お忙しい中、大和町総合教育会議にお集まりいただき御礼を申し上げます。日頃より当町の教育行政の推進に対し格別のご尽力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

私たちの未来を担うのは、今を生きる子どもたちです。学力の向上はもとより、社会の急速な変化に主体的に向き合い、協働し、地域を誇りに思える人間性と探究心を育むことが、これからの教育に求められているものと考えております。コロナ禍を経て、学びの個別最適化やICT活用の可能性は広がりましたが、一方で学習格差や心のケア、対面の人間関係づくりといった課題も浮き彫りになっていると感じております。私たちは、その一つひとつに真正面から向き合っていく必要があります。

本町では、地域全体で子どもを育てる「協働の教育」を柱に、学校・家庭・地域の連携を一層強めていくため、基礎・基本の定着に向けた少人数指導や学習支援体制の充実、ICTを活用した個別最適な学びの推進、そして不登校や発達特性へのきめ細かな支援体制の整備のほか、郷土の歴史・文化、自然環境を学びに取り入れ、地域での体験活動やキャリア教育を通じて、子どもたちの自己肯定感と地域愛を育ててまいりたいと考えております。

教職員の働き方改革も喫緊の課題です。学校現場の事務負担軽減、外部人材の活用、部活動の地域展開の円滑化を進め、先生方が子どもと向き合う時間を確保し、加えて、教育環境整備として、老朽化施設の改修、防災・防犯対策、デジタル機器の更新やセキュリティ強化はもちろんのこと、何よりも、子どもたちが安全・安心に学べる環境の実現を最優先に進めてまいります。

本日の会議では、令和8年度の本町の教育方針等について説明させていただき、皆様のご意見をお伺いし、実効性のある方針を取りまとめたいと考えております。

結びに、未来を拓くのは人の力であり、教育の力です。町全体で子どもたちの健やかな成長を支え、希望あふれる大和町の明日を共につくっていきたいと考えております。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げ、挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

総務課長：それでは、意見交換ということで私の方で進行役を務めさせていただきます。

次第3の議題、令和8年度の教育分野における主な事業（案）について、教育総務課長、生涯学習課長、公民館長から説明をさせていただきます。

議 題

(1) 令和8年度の教育分野における主な事業（案）について

教育総務課長（資料に基づき説明）

生涯学習課長（資料に基づき説明）

公民館長（資料に基づき説明）

町長：ただいま説明がありましたが、意見交換に移らせていただく前に町の財政状況等について説明させていただきたいと思います。令和8年度の予算編成について職員向けに説明会を実施したところですが、町税収入の減少、特に法人町民税の大幅な減少のほか、物価の高騰等もあり、非常に厳しい状況となっておりますことから、各担当課には事業の見直し等を積極的にしていくよう指示したところです。教育委員会部局におきましても、旧分校や教育ふれあいセンターの利活用、施設の長寿寿命化工事などもより精査した上で進める必要があるだろうという状況ですが、ここ1～2年が特に厳しく、その後は好転する見込みでもあります。今回説明させていただきます事業案に関しましては、忌憚のないご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

大内委員：予算の削減ということに取り組む必要もあるかと思うのだが、学力向上のためにも人材の確保はしっかりやってほしい。先生だけでは限界があるので補助的な人的支援なども必要かと思う。財政的に厳しいと言っても子どもたちの成長は待ってくれないですし、いじめの件数が今年は減っているということですが、継続して対応してきたことへの結果であります。教育は、その結果がでるまでには時間がかかりますが、中止等した際の結果はすぐ出てしまうかと思うので教育委員会での意見もぜひ尊重していただきたい。

また給食センターの移転新築ということで、給食センターのあり方を改めて考えていただけるといいかと思う。給食を提供するだけではなく、食育というのを大切にしてもらい、今は特に専門知識を持った所長が配属されたということもあるので、ぜひ給食センターも学びの場となるようよろしくお願いいたします。

町長：学力向上は本当に大切なことであると思う。昨日だが、大和中学校を卒業した方で、JICA海外協力隊としてアフリカに行き様々な経験をした大和中学校の卒業生の訪問を受けた。そういった活躍をしている卒業生の話を聞くとか、タブレットを使用していることもあることから、遠隔地の子どもたちとの交流などもできればい

いかと思っている。

大内委員：ぜひそのような新しい視点を持ちながら予算以上の効果をもたらすような教育をできればと思う。アフリカでの経験を話していただくというのも子どもたちにとって非常に貴重な経験になるし、陸上記録会の代わりにオリンピック選手の教室を開いたというのもあったが、予算が無いからとそのような貴重な経験の場を無くすることがないようにはしていただきたい。

鎌田教育長職務代理者：2点あるが、1点目として先ほど学力向上の話が合ったが、学力調査について、様々な施策を立てて実施しているかと思うがなかなか効果が表れていない。中学2年生になると成績が落ちることもあり今年度からまほろば塾の対象を1、2年生まで拡大して実施しているが、2回だけという状況である。参加者も少なかったということもあるため、実施時期や回数、どんな学習をするかの事前周知等改めて検討いただければと思う。現状を考えれば2年生だけに特化してもいいかと思う。

もう1点だが、これまでの陸上記録会にかかった予算を聞くとかなりの額で、今回は陸上教室を開くこととなったが、大人数を指導者1人でというのは子どもたち1人あたりの運動量などは制限が大きいと思う。例えば、クラスごと複数回実施する方が、陸上記録会よりも予算をかけず、より効果的な教室を開くことが可能なのではと思うところである。

教育総務課長：学力向上について、まほろば塾の実施が2回だけでは少ないかと思っていた。参加者が少なかった原因も部活動や既に塾に通っているなど様々かと思うので確認が必要と思う。陸上教室についても、小規模校ならそこに先生が出向いて小規模校の子どもたちが集まって実施すればバス代も削減可能など、様々な策はあるのではと思います。

浅野町長：陸上教室においては、中1ギャップを除くために大規模校と小規模校の交流を図るなども目的としているかと思う。何を目的にするかどこに重きを置くかなども含め検討必要かと思う。

木皿委員：事業については毎年見直ししているかと思うが、形骸化している部分もあるかもしれないので、同じ事業名だとしても中身をより改善していくなどは必要である。また、人材育成という点でこれから中学校や高校、世の中に出ていくにあたり様々な人の話を聞くこと等、非常に大切だと思うので、そのような機会を多く与えてもらいたい。さらに大きなことではあるが、小学校の保護者から統合はしないの

かと聞かれることがある。話が出てはいるが、実施するとしても徐々にとなるのではないかと保護者に話してはいる。

大内委員：統廃合については、親も危機感を持っているかと思う。校舎の改築を検討する時期になったらなどもあるかと思うが、その前に地域のコミュニティが疎遠になっていることも含めて考える必要がある問題かと思う。

浅野町長：昨年も話させていただいたが、小中一貫校や中高一貫校など様々な形があるが、今までは小学校は住んでいる地域というのが大前提で、そこを変えることはタブー的な感じではあったが、そうは言っていられないかと思っている。今回吉岡小学校を建て替えたが、他の小学校もいずれ建て替え等検討が必要になってくる。そこで統廃合なども含め検討必要だが、通学先が大規模校しか選択できないというのも選択肢として乏しいのではと思うので、PTAの方々なども含め協議をしていきたい。

大内委員：小規模校ならではの良いところを活かした事業の実施なども可能かと思えますし、そのようなことも踏まえて議論した上で最終的な方向性を決めていければいいと思う。

浅野町長：学校の統廃合もですが、先に児童館機能の統合をできないか、教育ふれあいセンターの空き教室を有効活用できないかなど子ども家庭課にも課題として検討するよう話している。施設の維持管理にも多くの費用がかかる見込みでもあることから、地域振興という点も踏まえ活用できればと動き出しているところであるので教育委員のみなさまにも認識していただきたいと思っていた。

鎌田教育長職務代理者：様々な部署での議論、そして役場や教育委員会、議会や住民とも議論し、町の教育行政を活かしながら将来的にどう考えていくかとすり合わせながら検討することが大切かと思う。

浅野町長：建物の問題なども含め安全な環境で学べるよう検討を進めたい。ほか事業についてもご意見等あればお願いします。

木皿委員：文化講演会の講師を選ぶ際の基準などはあるか。

生涯学習課長：前年度にアンケートを実施し、その中で希望を伺っている。ただ、昨年度及び今年度と野球関係者が続いてしまったということで配慮が必要だったと反省している。また、昨年度はまほろば大学の開講式や閉講式との兼ね合いもあり10月に開催し、今年度も同様に10月開催となったが、各種大会や稲刈りなど忙しい時期でもあるかと思うので、本来実施していた2月にと考えている。

大内委員：生涯学習に関しては難しいテーマかと思うが、子どもが少ない地域では

地区の行事などを止めるような方向に向いていると感じることもあり、地域の方を奮起させるような事業をスポーツなども通じて展開できればいいのかなと思う。

生涯学習課長：スポーツ関係含む各種事業も第40回など歴史を繋いできたものが多い。多様化するニーズの中で都度検討必要でありますし、必要ない事業は一つもないと思ってはいるが、優先されるものはどれかなど考える必要はあるかと思う。新しい考え方や文化が定着するには10～20年かかるだろうと思いながら大和町らしさを活かした事業を検討していきたい。

浅野町長：スポーツで頑張っている方には支援があるものの、文化芸能分野で頑張っている方への支援などもあった方がいいのかなと思っており、部活動の補助金はあるが地域移行しているというところで、部活動に限らずより広い分野広い範囲で支援できないかと思うがご意見あるか。

鎌田教育長職務代理者：町長が言ったようにスポーツだけではなく、様々な分野で頑張っている子どもたちをバックアップするような制度があつて良いと思う。

大内委員：各種支援等、時代に合った制度など必要になるかと思うが、給食費の無償化や吉岡小学校建築の際もだが、様々なこと決定する前にもう少し教育委員にも情報提供していただきたいと思っていた。給食センターの建て替えはこれからだと思うので、ぜひ我々の声も聞いていただきながら検討進めていただきたいと思う。

鎌田教育長職務代理者：そのような議論進めるにあたり、今後の町の活性化をどうするか、人口減の対策はどうするかなどと関連付けて考える必要がある。教育だけが一人歩きにならないよう検討していくべき。

もう2点ほどあるのだが、1点目は熊の出没が多いことから宮床中学校のスクールバスについて、現在のバス停ではなく校舎の方まで上っていくこと検討できないかということと、もう1点は、宮床小学校の基幹集落センターから学校まで歩道が無いため子どもたちの安全を考えるとこの2点は対策必要ではないかと思っていた。

総務課長：ほかにご意見ありましたらお願いいたします。

各委員：(特になし)

総務課長：それでは議題の部分につきましては以上とさせていただきます。皆様、ご意見大変ありがとうございました。それではこれで会議を閉じさせていただきます。

閉会の挨拶を八巻教育長から申し上げます。

開会挨拶

八巻教育長：本日は教育委員の皆様及び町長と直接、教育全般につきましてお話しする機会を持つことができ、大変ありがたく思う。教育は何かと課題が大きい分野でございますが、町の大きな施策の一つでもあると認識しております。委員の皆様方からのご協力もいただきながら努力してまいりたいと思いますので、これからも共通理解のもと、教育の推進を図っていければと思いますのでよろしくお願いいたします。本日は、大変ありがとうございました。

総務課長：以上をもちまして、令和7年度第1回大和町総合教育会議を終了させていただきます。大変ありがとうございました。